

誰もが自分らしく活躍できる社会へ

「中之島まつり」長岡ゆりこ市議が表明

第49回「中之島まつり」(主催・同実行委員会)が3日から3日間、大阪市北区内の中之島公園一帯で、3年ぶりに開かれました。初日の中央舞台では、「女性が議員になるためのアドバイス」を主題にした市民向けの討論企画「伝えよう大阪」(第12回)が行われ、大阪市議会各会派の女性議員4氏が司会者の質問に答えながら意見表明。日本共産党から、長

岡ゆりこ議員が出席しました。「女性議員を増やすことには、やはり女性議員が増えてたくさん声を上げることが必要」と語りました。

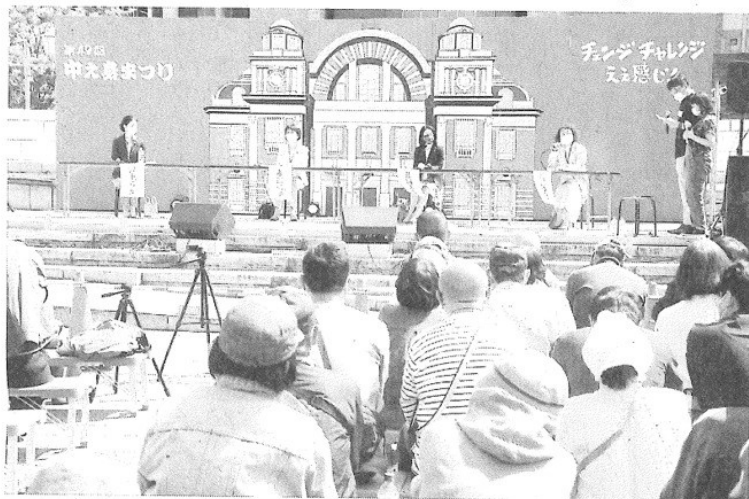
発言する長岡氏(3日、大阪市北区内)



岡ゆりこ議員が出席しました。「女性議員を増やすことには、やはり女性議員が増えてたくさん声を上げることが必要」と語りました。

議員の一定数を女性に割り当てる「クオータ制」を巡って長岡氏は、各国の男女平等の達成度を示す「ジェンダーギャップ指数2021」(世界経済フォーラム)を紹介。日本は156カ国中120位で、中でも政治参加の分野の低さ(147位)は異常だとし、「衆

院議員の女性比率は9%と少ない。女性の議員を増やすことが必要だし、クオータ制もその第一歩と考える」と話しました。



「中之島まつり」の企画「伝えよう大阪」
= 3日、大阪市北区内

司会者からは「議員を目指す女性が、明日からやるべき行動と学ぶべき性団体(新婦人)で子育て支援や平和運動に取り組

んできた中で、「候補者に」と要請を受けたと経験を紹介。「皆さんも、目の前の活動を精一杯やりながら、それが政治とつながっていることを感じてほしい。役割が回って来て議員になるかも知れないし、そうでなくても、政治を良くするため「発信を」と呼び掛けました。

自由発言で長岡氏は、「女性≠男性」というテーマで語られなくてもむしろよいような社会に近づきたい。また、LGBTQなど性的少数者の人たちもいます。誰もが幸せに、自分らしさを発揮して生き生き活躍できる社会を皆さんと一緒につくっていききたい」と語りました。